

がんセンターNEWS

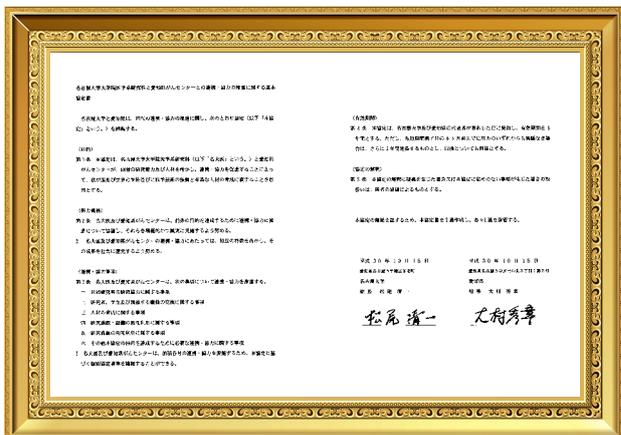
Aichi Cancer Center News

愛知県がんセンターと名古屋大学大学院医学系研究科との連携・協力の推進に関する基本協定の締結について

愛知県と名古屋大学では、愛知県がんセンター及び名古屋大学大学院医学系研究科の研究能力及び人材を活かし、科学技術の振興と有為な人材を育成することを目的に連携・協力を推進するための基本協定を締結いたしました。

愛知県がんセンターは、がん研究会、国立がん研究センターに次ぎ、昭和39年に開設された歴史を持つ、国内有数の総合がんセンターです。当センターは、この度の基本協定の締結を受けた密接な連携・協力のもと、現時点の最新・最良の医療を提供するのみならず、次世代のがんの予防と医療の革新に向けた研究を、より一層強力に推進してまいります。

当センター研究所は、これまでもその優れた研究実績やバイオバンク事業等を通じた高度な研究資源の蓄積を、がん研究領域において国内外から高く評価されてきましたが、今後、全3領域12分野が、名古屋大学大学院医学系研究科の連携講座となります。一方、名古屋大学大学院医学系研究科は、がんに限らず幅広い分野に渡って先鋭的な研究を展開する豊富な人材と、最先端の研究機器環境を有します。私たちは、お互いの強みを活かした連携・協力体制を構築していくことで、未来に向けた優秀な人材の育成をしながら、この愛知の地をがん研究と医療が日本で一番進んだ地域とすべく、最先端のがん研究を展開し、その成果を世界に向けて発信してまいります。



腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野長就任のあいさつ



愛知県がんセンター研究所
腫瘍免疫制御TR分野長
松下 博和

平成30年10月に、東大病院免疫細胞治療学講座から研究所腫瘍免疫制御TR分野の分野長に着任致しました松下博和です。私は、臨床研修後からがん研究の道に入り、留学時代にマウスを用いた基礎研究に没頭した以外は、ずっとヒトを対象とした腫瘍免疫の臨床研究を行ってきました。

最近、がん治療の中で免疫療法が脚光を浴びておりますが、その効果はまだ限定的です。しかし、たとえ一部とはいえ、免疫をうまく操作することで難治性がんでも治癒が見込めるようになったという事実は、腫瘍免疫を研究する者にとって大きな励みになりました。今後、愛知県がんセンターにおいて、病院の先生と共同でさらに有効ながん免疫療法の開発ができるように努力したいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

分子診断トランスレーショナルリサーチ分野長就任のあいさつ



愛知県がんセンター研究所
分子診断TR分野長
田口 歩

2018年9月1日に、米国ヒューストンにありますMDアンダーソンがんセンターから、愛知県がんセンター分子診断トランスレーショナルリサーチ分野長として着任いたしました。

我々は、次の2つの大きなテーマを柱にして、がんの克服を目指しています。一つめの柱は、がんを早期発見したり、治療効果を予測したりできる血液診断テストの開発です。もう一つの柱として、タンパク質を中心とする分子解析から、がん細胞と正常細胞との違いを理解し、がん細胞に特徴的な分子をターゲットとする新しい治療法の開発にも取り組んでいます。

消化器内科医としての経験を生かして、臨床から基礎へ、基礎から臨床へ、という双方向性の橋渡し（トランスレーショナル）研究を推進していきます。皆様の温かいご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野長就任のあいさつ



愛知県がんセンター研究所
がん標的治療TR分野長
衣斐 寛倫

平成30年2月に金沢大学腫瘍内科より着任いたしました。これまで約20年間がん薬物療法に携わって参りましたが、その間がん細胞の性質に応じた抗がん薬の選択（個別化治療）が着実に行われるようになってきています。当分野は、がん薬物療法で問題となっている事柄を、センター各科との緊密な連携のもと、実験室での検討や患者さんの治療データを解析することにより解決し、新たな治療を提案することが目的でスタートしました。個別化治療を進めるためには、それぞれの患者さんのがんについて詳しく検討することが不可欠です。これは、その患者さんに対し有効な治療を見つけるだけでなく、将来同じような患者さんが来られた際により良い治療手段を提供するためでもあります。ご協力をお願いすることもあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願い致します。

がんゲノム医療連携病院としてのエキスパートパネル

より効果が高い治療薬を選択するために、がんゲノム医療提供体制の整備が推進されています。平成30年11月には愛知県がんセンター中央病院もがんゲノム医療連携病院として、先進医療の遺伝子パネル検査が施行できるようになりました。写真は国立がん研究センター東病院とインターネットで結び、治療方法などについて議論しているところです。より高度のがんゲノム医療を提供できる環境をさらに整えていく予定です。



患者満足度調査から見えること 今後の改善に向けて2018

愛知県がんセンター中央病院では、安全で安心な医療サービスを提供するため、外来患者さんや入院患者さんのご協力をいただき、平成30年10月22日から23日にかけて「患者満足度調査」を実施いたしました。その結果をお知らせいたします。

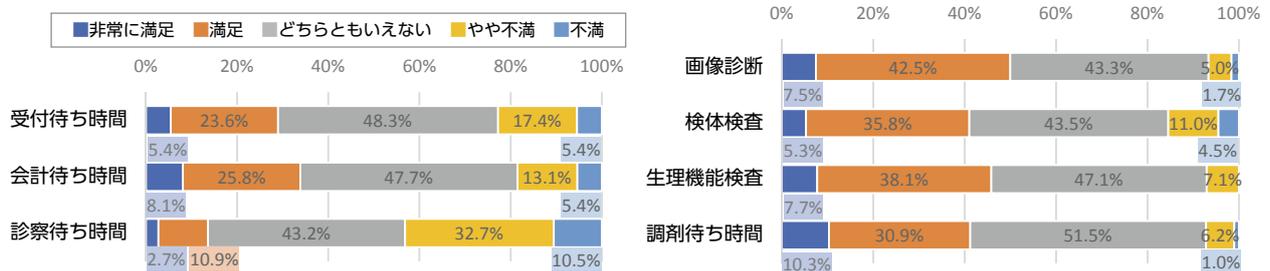
- 1. 調査件数** 外来部門 配布枚数：300枚 有効回答数：268件（回答率：89.3%）
 入院部門 配布枚数：271枚 有効回答数：200件（回答率：73.8%）

2. 調査結果

1) 総合的に当院を100点満点で評価すると何点ぐらいになりますか

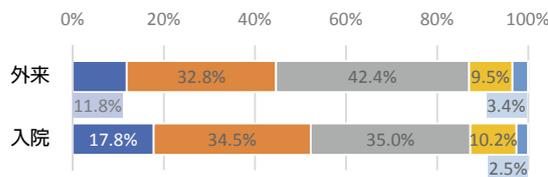
- ① 外来部門 平均 83.7点 ② 入院部門 平均 86.1点

2) 外来待ち時間満足度

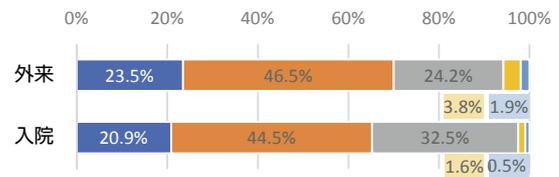


3) 満足度（一部抜粋）

● トイレは清潔で使いやすいですか



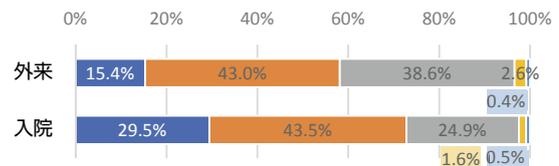
● 医師の病状や検査結果の説明はわかりやすいですか



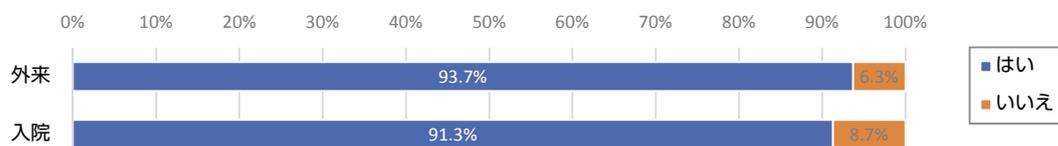
● 医師に質問や相談はしやすいですか



● 看護師は痛みやつらさ、不安等を和らげる配慮をしてくれましたか



4) すべての職員は検査や処置などの前に、フルネームでお名前を名乗っていただくようにしていましたか



※ 「該当しない・わからない」「無回答」は集計対象外

3. 総評

患者満足度調査にご協力いただきありがとうございました。本調査は当院の理念である、患者さんの立場に立った医療の提供ができていのかを考える貴重な機会ととらえております。そのため、今年度は職員が丁寧な説明や対応ができていのかを設問に加え、ご意見を伺いました。その結果からまだ多くの課題があることを教えていただきました。また、外来待ち時間につきましても、引き続き取り組むべき課題と認識しました。最後に、当院では、安全な医療を行うために、すべての職員が患者さんをフルネームで確認することに取り組んでおります。まだ100%に至っていませんので、引き続き全職員へ徹底していきたく思います。いただいた貴重なご意見、調査結果を真摯に受け止め、1つずつできることに取り組んでまいります。

(平成30年度患者サービス委員会委員長 戸崎加奈江)

患者さん、登録医、がんセンターをつなぐホットな1頁

とろろく医探訪 No.10

Produced by
地域医療連携・相談支援センター

はまうづくりクリニック 院長：濱宇津 吉隆先生



愛知県がんセンター中央病院の先生方、スタッフの方々には、常日頃から大変お世話になっており、ありがとうございます。はまうづくりクリニックは、2017年4月に、東区砂田橋にある、スーパーコノミヤの2階に、内科・消化器内科・内視鏡内科として開院しました。当院の最大の強みは内視鏡検査です。以前から胃カメラ、大腸カメラの苦痛をいかに軽減できるかを考え、努力してまいりました。内視鏡検査はしんどくない検査だと皆様にわかっていただき、検査を受ける機会を増やすことで、病気の発見と治療につなげていきたいと考えています。当院では土曜日と日曜日にも内視鏡検査を行っています。平日が忙しい方も、お仕事を休まずに検査を受けて頂けます。また、内視鏡検査に抵抗がある方には、御希望に応じて鎮静剤を使い、眠っている間に検査を行っています。当院のロゴマークは、『内視鏡検査で皆様を笑顔にした。』という気持ちと、はまうづの“渦”をかけてこのマークになりました。

内視鏡検査以外にも内科医として、診療分野を問わず全身を診させていただきます。患者様に寄り添い、健康をお守りできるようスタッフ一同精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



【医療機関情報】



診療科目／内科、消化器内科

胃腸内科、内視鏡内科

電話／052-721-8066

所在地／〒461-0045

愛知県名古屋市東区砂田橋 4-1-52
(スーパーコノミヤ 2F)

URL／www.hamauzu.com

月 火 水 木 金 土 日

9:00～12:00	午前診	/	●	●	●	●	●	/
	胃カメラ検査	/	★	★	/	★	★	★
13:00～16:00	大腸カメラ検査	/	★	★	/	★	★	★
17:00～19:00	午後診	/	●	●	/	●	●	/

※日曜日は第1・第3に胃・大腸カメラ検査を行います。



※診察・検査は基本的に予約制です。診療日詳細はHPでご確認ください！



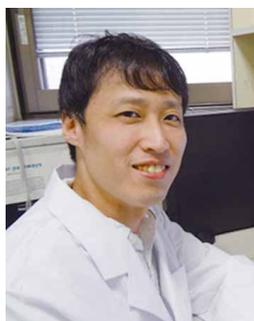
はまうづくりクリニック



編集後記：第10回は東区、「はまうづくりクリニック」です。北欧風な清潔感のある受付とスタッフの笑顔が印象的です。土日検査が可能なところや施設、特に大腸カメラを受ける方専用のプライベートトイレ等、内視鏡を受けられる方を大切に思う気持ちや気配りが伝わって来ます！<Y.SANO>

たばこと急性骨髄性白血病のリスクについて

研究所 がん予防研究分野



がん予防研究分野 主任研究員

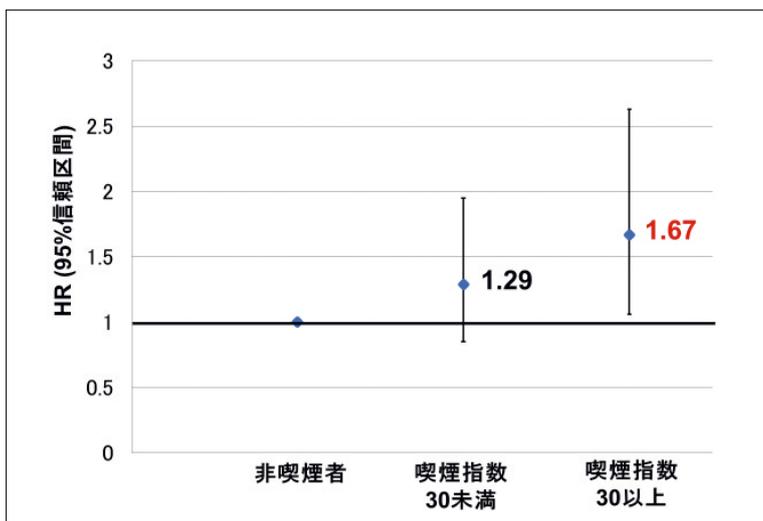
鵜飼 知嵩

白血病は、骨髄中の未熟な血液細胞ががん化することによって起こる、血液のがんです。これまで白血病は、お酒やたばこといった生活習慣とは関係なく、遺伝子の突然変異によって発症すると考えられていました。しかし、私達のグループの研究によって、たばこが急性骨髄性白血病のリスクを上げることが分かり、その結果を専門誌に発表しましたので、内容をご紹介します。

今回、全国の9つの研究を合計し、約30万人の一般住民の方を平均13年間追跡したデータを用いて、喫煙習慣ごとの急性骨髄性白血病のリスクを解析しました。結果として、喫煙指数（たばこ1箱を20本として、1日当たりの喫煙箱数と喫煙年数を掛け合わせた値）が30以上のヘビー

スモーカーのグループは、たばこを「吸わない」グループと比べて急性骨髄性白血病のリスクが1.67倍であり、統計学的に有意にリスクが上昇していました。また、男性の急性骨髄性白血病の約40%、女性の急性骨髄性白血病の約5%はたばこが原因で起こっていることが示唆されました。

急性骨髄性白血病は、他のがんに比べると発症頻度は低いですが、一度発症すると治療が難しい病気です。また、たばこは多くのがんや循環器・呼吸器疾患などのリスクを上昇させることも分かっています。健康寿命を延ばすために是非禁煙しましょう。



たばこと急性骨髄性白血病のリスクの関係

研究所 がん病態生理学分野

スタッフの紹介

がん病態生理学分野では、大腸がんがどのように悪性化して転移に至るのか、特にがん細胞と周囲の正常細胞とが作り出すネットワークの役割に焦点を当てて研究しています。また、がんのために筋肉が急激に痩せて体重が減少する、がん悪液質と呼ばれる病態の研究にも取り組んでいます。がんを全身疾患として捉え、「がんと共に生きる」時代に役立つ研究成果を目指して、スタッフ一丸となって頑張っています。



写真：前列左から、佐久間圭一郎(ユニット長)、後藤嘉子(技師)、青木正博(分野長)、三城恵美(リサーチレジデント)
後列左から、梶野リエ(研究員)、小堀恭子(技師)、小島康(主任研究員)、藤下晃章(主任研究員)

最先端のがん薬物療法を目指しています

中央病院 薬物療法部

薬物療法部は、食道がん・胃がん・大腸がんなどの消化管がんを中心に、肉腫（サルコーマ）、原発不明がん、胚細胞腫瘍、腎がん、乳がん、頭頸部がんなど幅広い固形がんに対する抗がん剤治療を専門とする診療科です。

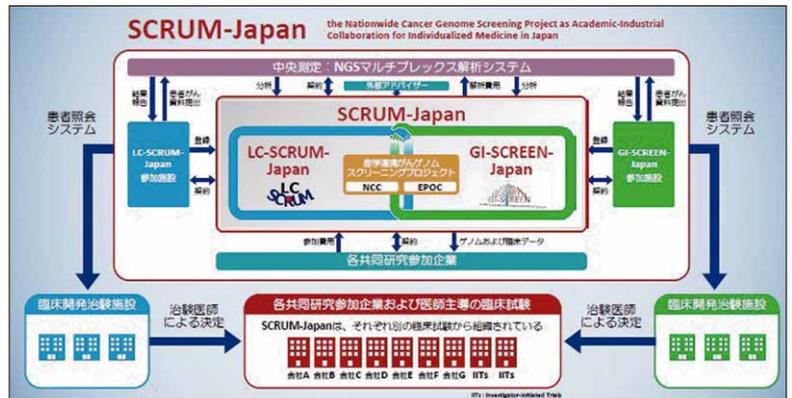
最近では遺伝子解析技術の進歩に伴い、がんの遺伝子情報に基づいた抗がん剤治療、いわゆる精密医療（プレジジョン・メディシン）が着実に進歩しております。当科は産学連携全国がんゲノムスクリーニング計画（SCRUM-Japan）（図）に参画し、精密医療の体制整備とともに臨床試験を通じてがんの遺伝子情報に基づいた画期的な治療の開発に取り組んでいます。抗がん剤治療の中でも免疫治療の進歩は目覚ましく、免疫チェックポイント阻害剤（がんを攻撃する能力の高いキラーT細胞を活性化する薬剤）の登場により、多くの固形がんの治療体系が変わりつつあります。さらに免疫チェックポイント阻害剤の治療効果を予測する研究も着実に進歩しております。

当科はこれらの最新治療に精通するのみならず、新たな治療開発を目指して企業・医師主導治験、臨床試験、臨床研究に積極的に取り組んでいます。

執筆者：医長 門脇 重憲



写真：室 圭部長（前列左から3番目）、
門脇重憲医長（前列右）とスタッフ一同



産学連携全国がんゲノムスクリーニング計画（SCRUM-Japan）

中央病院 消化器外科部 スタッフの紹介

消化器がん全般（食道、胃、肝胆膵、大腸）の外科治療を専門とする部門です。最良の外科治療を提供するために消化器内科、放射線診断部、薬物療法部と緊密に連携し、新しい治療法の開発に積極的に取り組んでいます。他臓器浸潤を伴う進行がんや再発がん症例でも他部門と連携し安全な手術を行っています。また、病状に応じて低侵襲手術（腹腔鏡手術、ロボット支援下手術）を行い、機能温存手術も可能な限り行っています。本年度は奥野（肝胆膵）、細井（食道）が新たに赴任しました。

よろしくお願ひ致します。



写真：前列左から、安部 哲也(食道)、細井 敬泰(食道)、清水 泰博(肝胆膵 部長兼副院長)、
奥野 正隆(肝胆膵)、小森 康司(大腸 集中治療部長)、伊藤 誠二(胃 手術部長)、
後列左から、檜垣 栄治(食道)、夏目 誠治(肝胆膵)、木下 敬史(大腸)、千田 嘉毅(肝胆膵)、
三澤 一成(胃)、伊藤 友一(胃)、大城 泰平(大腸)

世界標準の遺伝医療を届ける！

中央病院 リスク評価センター

リスク評価センターは、中京・東海地区における遺伝性腫瘍診療の要として、平成30年4月に開設されました。臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリング*や遺伝学的検査の実施など、一人ひとりに適切な世界標準の遺伝診療を行うことを目指して日々取り組んでいます。(写真1)。

がんを発症された方の3-5%は、生まれつきの遺伝子の変化があることで特にがんになりやすい体質を持つ「遺伝性腫瘍」とされ、80種類以上が知られています。がんの種類や家族歴から特定の遺伝子の変化が疑われる場合には、その遺伝子を血液で調べる遺伝学的検査で診断できます。今年度は、検査できる遺伝子の種類を増やしています。また、特定の遺伝子に絞れない場合に備えて、28種類の遺伝子を一度に調べるパネル検査も平成30年10月1日から開始しました。原因となる遺伝子が診断され、複数の診療科が連携した対応が必要な場合には、院内各診療科や他機関と共にそれぞれのご家族専門のチームを組む体制もとりました。

皆さまに、愛知県がんセンター中央病院での遺伝診療における新しい取り組みに関する情報を提供したり、遺伝や遺伝医療に親しんでいただくために、フェイスブックも開設しています。是非、ご登録いただき覗いてみてください(写真2)。

*遺伝カウンセリングは、自費診療(初回1万8000円、2回目以降5千400円)で、月～金の午後3時・4時(金曜のみ午前10時・11時含)の予約を受け付けています。



写真1：左から、高磯伸枝(認定遺伝カウンセラー)、井本逸勢(臨床遺伝専門医・指導医)



写真2 リスク評価センターのフェイスブックページ用QRコード(左)とプライバシーに配慮した遺伝カウンセリング室(右)

中央病院 泌尿器科部 スタッフの紹介

＜ロボット手術の拡充＞

現在、泌尿器科部は曾我(部長)とスタッフ2名(小倉医長、古澤医長)の計3名で診療を行っています。泌尿器科部の最大のトピックスは、ロボット手術の拡充です。2015年7月に最新の手術支援ロボットであるダヴィンチXiを名古屋市内で初めて稼働し、前立腺がんに対する前立腺全摘(累計約180例)、腎がんに対する腎部分切除(累計約12例)は、全例ロボット補助下で行い、膀胱がんに対する膀胱全摘除を準備中です。医療スタッフと常に意思疎通を図りながら、最善の医療を実践できるように尽力しています。泌尿器がんのご相談は、お気軽に愛知県がんセンター泌尿器科部にご相談ください。



写真：左から、曾我(部長)、小倉(医長)、古澤(医長)

全国がんセンター協議会施設長会を開催しました

全国のがん予防、診断及び治療、調査研究等を行う施設で構成された全国がんセンター協議会の施設長会が、平成30年11月16日（金）に名古屋観光ホテルにおいて、当センターが主体となり開催されました。

会議では、保険診療に関する厚生労働省への提案事項や、今後のがん医療の向上のための政策提言に向けた協議会のあり方など、幅広い議論がなされるとともに、名古屋大学松尾総長による講演が行われるなど、大変有意義な会となりました。



新任医師の紹介



呼吸器外科部
上野 陽史

約10年間にわたり名古屋第一赤十字病院で肺癌から外傷まで呼吸器外科領域全般の治療を行ってきました。地域のがん診療を担う愛知県がんセンターで、これまでの経験を生かしていきたいと考えています。宜しくお願いします。

医療連携室のご案内

対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)
電話	052-764-9892 (直通)
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)
ホームページ	http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/ 中央病院トップページ右手にある「医療連携」のバナーをクリックしてください。利用の手引や様式など、詳細を掲載しております。

外来診療案内

受付時間	午前8時30分～午前11時30分 (自動再来受付機による受付は午前8時からできます。)
休診日	土・日・祝日、年末年始
診療科	消化器内科、呼吸器内科、循環器科、血液・細胞療法科、薬物療法科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科 (サルコーマ外来)、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、眼科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、緩和ケア科 (精神腫瘍科・リンパ浮腫外来・ペインクリニック)
外来診療担当医一覧	毎月1回、月初めに更新しています。詳しくはホームページをご覧ください。
休診情報	お電話またはホームページでご確認ください。

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時 (土・日・祝・年末年始を除く)
 ※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)
 ※精神腫瘍科は、予約のみの対応です。

交通のご案内

★公共交通機関のご案内

地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でのご案内

- ◎一般道路
本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- ◎高速道路
東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分

※詳しくはホームページをご参照ください。



愛知県がんセンター Tel.(052)762-6111 Fax.(052)764-2963

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

愛知県がんセンター

検索